

大麗女島の「呉（５）火薬庫新設等調査検討報告書」について
市民生活の安全確保のために市民が知るべき情報を明らかにす
ることを求める請願

標記請願を受理したので議会に付議する。

令和 7 年 9 月 1 日

呉市議会議長 中 田 光 政

紹 介 議 員 久 保 東
山 上 文 恵
奥 田 和 夫

2025年8月20日

呉市議会議員 中田光政 様

提出者 住所

団体名 日鉄呉跡地問題を考える会

共同代表 森 繁郎・西岡由紀夫

連絡先

紹介議員

山上 文恵
須田 和夫
久保 東

大麗女島の「呉（５）火薬庫新設等調査検討 報告書」について
市民生活の安全確保のために市民が知るべき情報を明らかにすることを求める請願

防衛省は今年３月３１日に示したゾーニング最終案で、初めて日本製鉄呉跡地への「弾薬庫」の整備を明らかにしましたが、その面積を必要最小限に抑え、呉湾内の大麗女島の既存の海上自衛隊弾薬庫を最大限活用する（新たな「火薬庫」と栈橋等を整備する）ことを表明しました。火薬類取締法上、火薬庫に貯蔵される「弾薬」は、銃弾、砲弾、ミサイルなど多種多様です。２０２２年の「安保３文書」で、トマホークを始め、弾薬整備経費が５年間で５倍の５兆円に増加し、全国１３０か所の弾薬庫の確保が急務となっています。呉での整備は大きな柱となり、自衛隊呉基地（自衛隊海上輸送群）は南西諸島などに弾薬等を輸送する兵站基地としての役割を担われようとしているのです。

大麗女島から対岸の海上保安大学校までの距離は僅か３００ｍほどで、背後には晴海団地と瀬戸見団地が広がっています。呉港と広島宇品港や江田島の小用港を結ぶ旅客船も目の前を航行しています。

弾薬庫の設置には、「保安距離」（爆発の影響から保護するため、市街地住宅などの保安物件までの間に確保が義務付けられている距離）を確保しなければなりません。弾薬庫１棟で最大の４０トン进行貯蔵すると保安距離は５５０ｍとなるため、保安距離の絶対的不足によって、海上保安大学校の学生や職員、晴海団地の住民は日常生活と命が脅かされることになります。国は、島にメインとなる弾薬庫を新設することについて、早急に市民に説明を尽くさなければなりません。

防衛省は、２０２３年度予算で２億円の調査費を計上し、中国四国防衛局が中電技術コンサルタント（株）に１億３，２８８万円で「火薬庫新設等調査検討」業務を委託しました。契約の履行期間は２０２３年８月２３日から本年３月１５日までであり、火薬庫（２棟）の整備及び港湾施設（護岸、係留施設）の改修に係る調査検討を終え、すでにその報告書が防衛省に提出されています。呉市は、速やかにこの報告書の内容、特に「火薬庫の棟数、貯蔵容量、保安距離」の提示ないし情報提供を求めるべきです。それは、火薬類取締法の保護法益（目的）が「災害の防止と公共の安全確保」（１条）であり、市民生活を守るうえで当然の責務です。報告書には、当然確保すべき「保安距離」が書かれています。呉市は、地元自治体として、報告書を国と共有し、必要な情報を市民に明らかにしなければなりません。

よって、以下のことを請願します。

呉市議会は、新原芳明呉市長が防衛省に対し、「呉（５）火薬庫新設等調査検討 報告書」の内容の提示ないし情報提供を求め、市民生活の安全確保のために必要な情報を市民に明らかにするよう決議してください。

本請願の審査に当たり、呉市議会基本条例第１２条（説明機会の付与）に基づき、提案者の意見（請願の趣旨や補足説明など）を聞く機会を設けていただくようお願いします。